

# 「農業農村整備事業の効果」

## ④ ほ場整備を契機に地域を元気に！編

■岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課

岩手県では、ほ場整備事業を積極的に導入し、ほ場の大区画化による作業効率の向上と、担い手の経営規模拡大に向けた農地利用集積を一体的に進めています。

ほ場整備を実施した地区では、労働時間の短縮により生み出された余剰労働力を活用し、新規作物の導入や、新たな産業分野（食品加工や産直販売等）への取り組みを開始するなど、雇用の場を創出している地区が数多くあります。

今回は、ほ場整備を契機に、『地域が元氣』に活動している事例を紹介します。

### 1 宮守川上流地区（遠野市）の事例



宮守川上流地区

宮守川上流地区は、地形条件が厳しい典型的な中山間地域です。

水田の多くは、急傾斜地にあり、小区画で不整形だったため、大型機械の導入や農地利用集積が困難でした。

そこで、将来の農業の在り方について地

「ほ場整備前」



ほ場整備により…

「ほ場整備後」



大型機械による農作業の効率化



無人ヘリ導入による防除作業の効率化

域の話し合いを重ねた結果、「ほ場整備事業」を導入することとなりました。

平成6年からの事業導入を契機に、集落営農による「二集落一農場」を目指し、平成8年に「宮守川上流生産組合」が設立され、平成16年には「農事組合法人宮守川上流生産組合」として法人化し、組織体制が強化されました。

広がる地域活性化の取り組み

生産組合を設立後、水稻の作業受委託や農業機械の共同利用、ブロックローテーションによる大豆の集団転作等に取り組むとともに、農産物加工施設「きよらか豆腐工房」では、地域で生産した大豆を原料として豆腐や味噌の加工が行われました。

また、ジュースやジャムの加工所を開設し、トマト、ブルーベリー等地域農産物の加工・販売のほか、どぶろくの生産販売が始められました。

生産した農産物や加工品は、産直施設「サンQふる郷市場」での販売に加え、地域の高齢者向けの宅配サービスやインターネットによる全国販売が展開されています。

さらに、観光農園（ブル



地域の農産物や加工品を産直で販売



トマトジュースの生産加工販売を一貫して実施



転作大豆を活用し豆腐の加工

「ベリー、わらび」にも  
取り組み、法人経営の  
多角化により、女性や  
高齢者の地域雇用の創  
出にも貢献しています。

「二集落一農場」の実  
践に向け、生産組合で  
は各種の取り組みを行う部会等が設置され、  
活力ある地域づくりをけん引しています。



一集落一農場の取り組みを展開

## 2 一関第2地区(平泉町ほか)の事例



一関第2地区  
は、北上川沿岸に  
拓けた肥沃で平坦  
な水田地帯です。

北上川は、本地  
区の下流に位置す  
る岩手、宮城県境

部において両岸に山が迫る狭さく部となっ  
ています。そのため、上流で大雨が降ると、  
この地域は洪水が頻繁に発生し、昭和22年、  
23年のカスリン、アイオン台風の大雨では  
未曾有の被害となりました。

その後、洪水対策として「一関遊水地事  
業」が着工し、その進捗と併せ、遊水地内  
の肥沃な優良農地の有効利用と農作業の効  
率化を図るため、「ほ場整備事業」を導入  
することとしました。



「ほ場整備前」



「ほ場整備後」

ほ場整備により…



大型播種機械による作業の効率化



大型機械による収穫作業の効率化

平成10年からの事業導入を契機に、平成15  
年に地区内の農家全戸が加入する土地利用調  
整組織「長島営農組合」が、また、平成18年  
には組合の担い手有志により「農事組合法人  
アグリ平泉」が設立されました。

### 新たな経営展開

同法人の作業受託面積は年々増加し、小麦、  
大豆、水稲を中心としたブロックローテーシ  
ョンによる作業の効率化、連作障害の回避、  
雑草害の抑制等が図られました。その結果、  
県麦作共励会奨励賞や県大豆作共励会優秀

賞を受賞するなど、本県の小麦、大豆生産  
をリードする農事組合法人として大きな期  
待が寄せられています。

平成22年には、世界文化遺産「毛越寺」  
に隣接する農産加工品直売施設「門前直売  
あやめ」が開設されました。法人が運営す  
るパン工房では、地域で生産した小麦と自  
家製天然酵母を使用したパンが製造・販売  
されているほか、地域の学校給食用のパン  
も製造しています。そ  
のほか、漬物やそう菜  
の加工・販売も行われ、  
生産物の高付加価値化  
とともに地域雇用の創  
出に貢献しています。



法人直営のパン工房

また、稲で大区画ほ場に巨大な絵を描く  
「ライスアート」に取り組み、田植えや稲刈  
りなどの農業体験学習の場を提供しながら、  
消費者交流や世代間交流を通じて、地域の  
魅力を発信し続けています。



農業体験学習の場を提供



世界遺産平泉をPRするライスアート

●このページに関するお問い合わせ

岩手県農林水産部農村計画課

Tel019-629-5666 / Fax019-629-5679 / E-mail:AF0006@pref.iwate.jp